



市内65カ所、市民など1万人の参加を目指した訓練で私たちは三つの重点会場の一つ西大寺北小学校での訓練に参加し、西部方面隊による一斉放水訓練・放水体験と広報指導

分団のAED(心肺蘇生法)体験を行いました。

自主防災の方を中心に市民の皆さんは早朝より集合され、私たちが行った放水体験には約200人と長い列ができ、AED体験には定員いっぱいといく多くの人に参加頂き、意識の高さを感じました。

訓練に参加いただいた団員の方々、ありがとうございました。

奈良市総合防災訓練に参加して

西部方面隊 副隊長 木村和弘

奈良市総合防災訓練 開催

～2022.10.30 奈良市全域～

3カ所の小学校に開設された重点

佐保川・大安寺西・西大寺北の訓練を行いました。一般の避難所その他に福祉避難所や救護所、災害ボランティアアセンタールームも開設され各種訓練を行いました。

午前9時30分、訓練開始の合図で始まった避難訓練では防災スピーカーや緊急速報などの情報発信、避難所開設など実践的訓練が行われました。



遠くへ届け！…放水体験

会場では、災害時に出勤する車両展示や、各関係機関・団体による復旧・復興に向けた活動紹介ブー

スでの展示、各種防災関連体験などを通じ、防災意識を高められる一日となりました。

奈良大会として、令和4年11月26日奈良県コンベンションセンターにて開催されました。災害時に活躍する防災用品の展示やAR・VR技術で自然災害を疑似体験できるなど、普段あまり目にする事のないコーナーがあり参加者の興味を誘っていました。

地域防災力 充実強化大会 in 奈良 2022



VRでの疑似体験の様子

カラークラウド隊として参加した団員は、

【消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律】の趣旨に則り、地域防災力を向上させることを目的とした「地域防災力充実強化大会」が今回

メインステージではオープニングを奈良市消防団カラークラウド隊が演技を披露し、講演会やパネルディスカッション、防災クイズなど、様々な催しが行われました。また、応急手当の動作を取り入れた「やまとなでしこ体操」や「せんとくんダンス」を奈良市消防局マスコットキャラクターの「なっぴい」と一緒に元気よく踊って会場を盛り上げていました。



仲川市長 with カラーガード隊



「お問い合わせ」奈良市消防局総務課内

TEL. 0742-35-1199

奈良市消防団 HP はこちら ⇒

HPでは過去に発行の新聞もご覧いただけます。

消防団員 募集中!



ました。」と話していました。

演技に込め

避難所での活躍期待!

「大舞台での演技は心臓の音が聞こえるのではないかと、緊張が感じました。消防団員としての活動のすべてを

例年に比べ、寒さが厳しい日の開催でしたが、団員が山へ登る際に小さな男の子が「がんばって」と応援してくれたことが嬉しく、記憶に残る若草山焼きとなりました。

一度の寒波で積雪があり、その影響で湿気を帯びた草は燃えにくく、山を炎が駆け上がり夜空を赤く染めあげる。壮観さは残念ながら見られませんでした。

詩「若草山焼き」が開催されました。多くの人が見守る中、消防団出発式を終えた団員は、野上神社での神事後、山麓中央に設置された大かがり火より御神火をいただき、各

点火地点へ向かいました。寒さと戦いながら点火までの待ち、大花火打ち上げ終了後、柳生分団ラッパ隊の合図で点火しましたが、10年

令和5年1月28日、奈良の冬の風物詩「若草山焼き」が開催されました。



積雪の若草山へ点火

くまでしこ新聞



発行 奈良市消防団 〒630-8145 奈良市八条五丁目404-1 奈良市消防局 総務課内 ☎ 0742-35-1199 編集人 奈良市消防団 広報指導分団 中村 亜矢子



展示内容について説明を受ける市長

3年振りの通常開催で多くの方が山麓に!

積雪の若草山焼き

令和5年1月28日、奈良の冬の風物詩「若草山焼き」が開催されました。多くの人が見守る中、消防団出発式を終えた団員は、野上神社での神事後、山麓中央に設置された大かがり火より御神火をいただき、各点火地点へ向かいました。寒さと戦いながら点火までの待ち、大花火打ち上げ終了後、柳生分団ラッパ隊の合図で点火しましたが、10年一度の寒波で積雪があり、その影響で湿気を帯びた草は燃えにくく、山を炎が駆け上がり夜空を赤く染めあげる。壮観さは残念ながら見られませんでした。

第27回 全国女性消防団員活性化 徳島大会

テーマ「女性パワーを盛り上げ大きな大きな渦へ！」

令和4年11月22日、徳島県徳島市「アスティとくしま」にて「第27回全国女性消防団員活性化徳島大会」が開催されました。



徳島県の取組みをいろいろと紹介

「輝く！女性消防団員 私たちが
守る地域の未来」をテーマにパネ
ルディスカッション、「よろこび

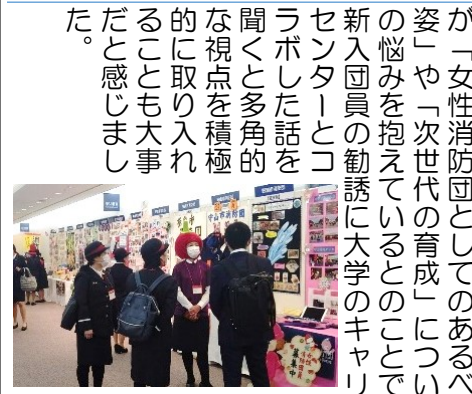
コロナ禍で延
期されていた今
大会が、感染防
止のため規模は
縮小されつつも
三年ぶりに開催
され、全国から
女性消防団員が
一堂に集まりま
した。



パネルディスカッションの様子

メインステー
ジでは防火・防
災啓発劇や活動
事例の発表や、
「輝く！女性消防団員 私たちが
守る地域の未来」をテーマにパネ
ルディスカッション、「よろこび
活動は多種多様で多くの消防団
が「女性消防団としてのあるべき
姿」や「次世代の育成」について
の悩みを抱えているとのことで、
新入団員の勧誘に大学のキャリア
センターとコ
ラボした話を
聞く等多角的
な視点を積極
的に取り入れ
ることも大事
だと感じまし
た。

消防学校へ
令和4年11月26日、
榛原市にある消防学校
へ一日入校しました。
内容は規律訓練、防
水訓練、防火に対する
取り組みと一次手当講
習でした。
防火に対する取り組
みでは、実験を通じて



展示ブースでの様子



《推薦人》

富雄分団分団長
金田 智仁

富雄で中華料理店
【未来軒】を運営している
【中村敬介】を紹介します。
団員が店を利用するのを
きっかけに、平成22年に
入団を決意してくれ、今年
度で12年目を迎えます。

軽い気持ちで入団したと聞いておりましたが、訓練や先輩団員との交流の中で重要性を認識し、過酷な現場に向かう事で生命と財産の大切さを感じてくれました。

また、【とみお一番街商店会】の役員を長年務めているとのことで昨今のコロナの影響でイベントがなく寂しい思いをしている子どもたちに元気を出してもらおうと色々企画し、《とみおサイダー》なる物を知人たちと広めたり、駅前の野球バーとのコラボ企画で月に一度、プロ野球選手OBの方を招いてのイベントも開催しています。

地域との関わりで、防災活動にも全力で取り組んでくれることを今後も期待しております。

我が分団 自慢の「人」

富雄分団 団員 中村 敬介



を力に...」をテーマに有森裕子氏
による記念講演が行われました。
展示ブースでは各消防団による
活動紹介や災害時に役立つ情報や
関連グッズの紹介がありました。
今回の大会に参加し、奈良市に
も取り入れたいと思うようなアイ
デアをたくさん吸収することがで
きました。例えば、啓発劇では具
体的な災害前後の対応につい
て言及されていて、大人が
子どもでも楽しめるようになって
たり、SNSの活用が盛んであつ
たり、広報にも様々な手法があつ
たことを知りました。

ケーブル火災の発火に至る
状況を知ることができ、古
いケーブルや、つきづらいいケープ
ルを使わないなど、些細な取り組
みで防ぐことができる、またその
ことを周りの人に伝える大切さも
学びました。
一次手当講習では、通常の救命
講習時に使用している心肺蘇生用
人形の代用として、ペットボトル
を使用する救命訓練があることを
知りました。この方法であれば、
近所といったごく小規模な単位で
も、人数の多いイベントの際にも
人形の数によって規制されること
なく、同時に講習が可能となるの
ではないかと思えます。今後、救
命講習時にぜひ取り入れたいと感
じました。

消防学校へ消防団員対象

第22回文化財防火ゼミナール

令和5年1月27日、奈良国立
博物館において、独立行政法人国
立文化財機構・文化財防災統括リ
ーダーの小谷竜介氏による講演が
行われ、「文化財防災には技術者
や学芸員などの専門家によるネッ
トワークのみならず、地域の一般
市民によるネットワークが歴史文
化、ひいては我々のくらしを守る
任務を持つ」と訴えていました。
昭和24年1月26日、法隆寺金
堂の火災により壁画が焼損したの
を機に、翌25年文化財保護法が制
定され、さらに昭和30年には1月
26日を「文化財防火デー」と定め、
毎年この日を中心に文化財の防火
運動が全国で
展開されてい
ます。

出初式

令和5年1月14日、出初式が
執り行われました。
当初、人数制限を設けつつも、
ルート奈良鴻池パークで行進や放
水演習、消防団表彰などを行う予
定でしたが、残念ながら天候不良
により場所を消防局に移し、出席
者を分団長以上とし規模を縮小し
ての開催となりました。

新型コロナ感染が初めて国内で
確認されて丸3年。感染症法上の
特別措置が適応される2類相当か
ら季節性インフルエンザと同等の
5類への類別見直しを検討されて
います。しかし、私たちがとって
心掛けるべきことに変化はありま
せん。引き続き人の集まる場所
のマスク着用、手洗い、うがいを
徹底しましょう。

編集後記

～防災広報活動あれこれ～

- * ならやま小中学校
小学2年生対象防災教室 (11/16)
- * トミニャンフェスタ 2022 (12/3)
- * 西消防署防災イベント
in 霊山寺 (12/4)
- * 佐保川こども園消防訓練 (12/6)

